

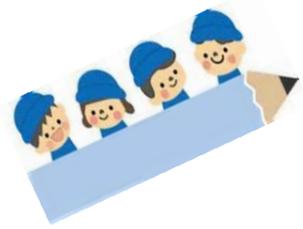
これから何がはじまるの？

三里の三里による、三里の今と未来のためのまちづくり協議会設立に、小城市でいちばん最初に取り組みます。



どんなことをするの？

三里がもっともっと楽しく、安心して、そしてどこよりも元気な地域となるためのまちづくりプラン（計画）を考えていきます。まちづくり協議会メンバーは三里に住んでいる方、三里に通っている方、みなさん一人ひとりです。



行って
みようかな!



いつ話し合っているの？

第2回まちづくりワークショップ

9月10日（日）9:30から 三里支館

第3回まちづくりワークショップ

11月26日（日）9:30から 三里支館

どなたでも参加できます



問い合わせはどこにするの？

三里まちづくり協議会設立準備会

代表 富永正樹（電話 090-3900-3923）

小城市役所 企画政策課（電話 0952-37-6115）



みんなで作る三里まちづくり News - 1



三里地区では、誰もが安心して住み続けられる地区を目指して、三里振興会を母体に各種団体の代表で構成する「三里まちづくり協議会設立準備会」を結成し、「地域のまちづくり事業」に取り組んでいます!!

「地域のまちづくり事業」とは…概ね小学校区単位を想定し、地域の魅力や課題を洗い出し、地域の目標・まちづくり計画をつくり、その目標を実現していくために、自治会、消防団、PTA、老人クラブ等の地域で活動されている各種団体で構成する「まちづくり協議会（仮称）」を設立し、地域活性化に向けた「住民主体のまちづくり」を進めていくための事業です。

まずは、5つの分野から三里のまちづくりを考えているところです

歴史・場所を活かす

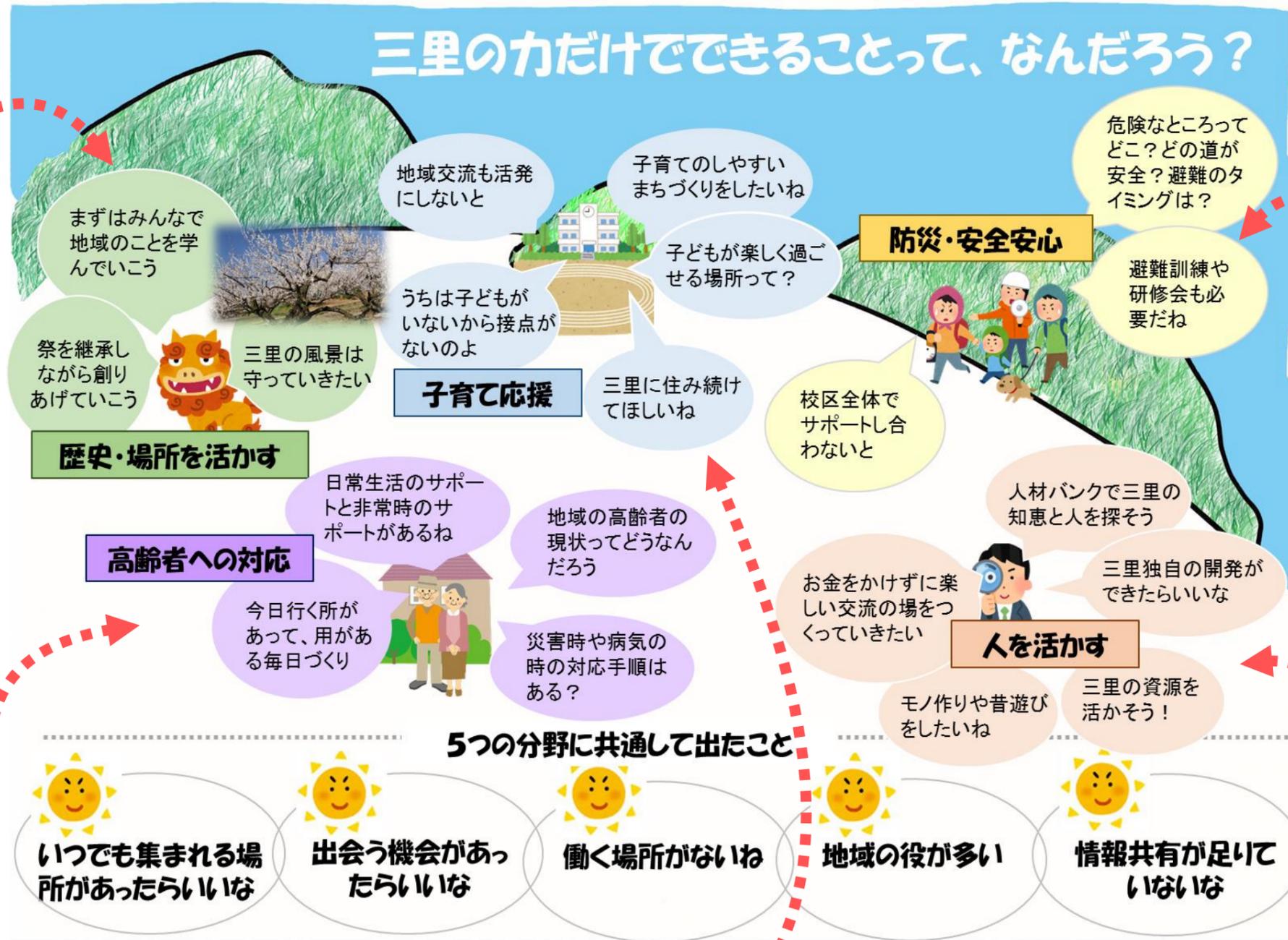
三里には自慢できる場所や地域生活に深く結びついた文化と歴史があるね。このことを未来へつなげていきたい。何より三里の子どもたちや若い世代、そして三里以外の人たちにも伝えていって、三里をにぎわいのある校区にしたいなあ。

未来のため今ある歴史や文化をどう活かしていけばよいかを考える

高齢者への対応

三里校区の高齢化率も年々高くなってきているから、地域として対応を考えておくことも必要。高齢になってもいつまでも健康で、そして元気なままで地域で暮らし、地域の役にも立ちたいし、安心して三里で過ごしたい。そんな三里校区を若い世代と一緒につくりていきたいね。

高齢者の健康で楽しい生活を応援する三里を考える



防災・安全

何があってもおかしくない今だから、災害時に地域でどう対応していくかをみんなで考え、準備をしておくことが必要だと思う。何かあってからではなく、その前に三里校区の安全をチェックし、子どもたちや高齢者の安全をどんなふうに確保するかなども話し合っていきたいな。

もしもの時に備えるため日頃の安全のあり方考える

人を活かす

楽しいことをやっているところに人が集まってくるから、三里の人で三里を活性化していきたいな。そのためには三里の人が持っている技術・知識を最大限に使い、三里校区外の人たちを引き込んで、みんなに三里の素晴らしさを知ってもらい集えるようにしたいね。

得意なことを発揮して三里が活気づくには

子育て応援

地域に子どもがいることは大事なことです。三里を好きになって、ずっと三里で育って行って欲しいと思う。例えば地域で放課後の預かりなどをして、子育て世代を手助けできる三里校区だったら、子どもがのびのびと育て親も安心できるよ。

三里で子どもが育ち、若い家族が増えていくためには

平成27年度、平成28年度と2回にわたって開催されたワークショップで挙げた『こうなったらいいな』をたどると、5つの分野が浮かんできました。平成29年7月23日に開催した第1回三里まちづくりワークショップではこの5つの分野ごとに話を深め、これから地域で実施していきたい三里校区の方向性を発見しました。

